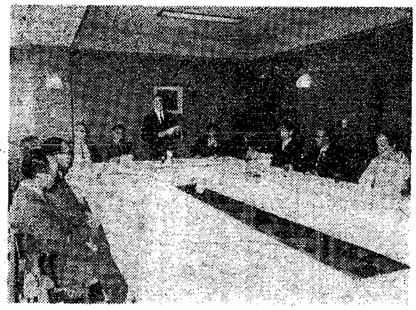
市報にいがた 点字版創刊

盲人代表者と市長話し合う

「交通問題に意見集中」



盲人協会の代表者とあいさつする渡辺市長

「市報にいがた点字版」が去る五月十五日創刊されました。これは、今後毎月十五日に発行されるものです。広報課では、これを機会に、同二十一日、新潟市盲人協会（会長本間栄一氏）の代表九人と渡辺市長を囲む座談会を開きました。創刊号の感想や、市政に対する意見要望が、一時間にわたって、なごやかなうちにかわされました。

渡辺市長の「これからも一層身体障害者福祉の向上を図りたい」というあいさつに続いて、本間会長から「点字版創刊を機に、私たちもようやく市政に仲間入りできた―という感じで大変うれしい」というあいさつで会が始まりました。

点字版の感想がひとわたり全員から述べられ「交通問題など身近かな問題が取り上げられていてよかった」「季節的に明かるい時期に創刊されたということはよかった」「標準小売り価格など生活に密着した問題があってよかった」などオホメのことばをちょうだいし、広報課一同恐縮した次第ですが、「保健衛生面の問題も載せて欲しい」などの希望も出されました。

次に、市民として生活している中で、市政に何を望むか――ということで、意見、要望をお聞きしました。「肢体不自由者、ろう唖者、盲人三者の、個々に促したキメ細かな行政を願いたい」「盲人福祉会館（水島町）は、よく利用しているが、交通の便が悪いうえ道路事情もよくない」「歩道にカンバン、自転車、荷物などが放置してあり、危険だ」「信号機にチャイムを付けて欲しい」など交通問題が最も多く、それだけに切実な問題といえます。また「ホームヘルパー制度はどうなっているか」「市の下水道計画はどうなっているか」などの問題もでました。

これに対して渡辺市長は「会館附近の道路事情については、早速検討してガードレールを取り付けたり、側溝の蓋を付けるなどしたい。また、市民全体に対しても交通安全のPRを続けたい」と答え、積極的に対策を立てることを約束しました。

出席者

（市盲人協会側）敬称略

会長	本間栄一
副会長	長谷川源蔵
監査	川瀬一平
監査	大谷惣一
総務部長	本永ヨイ
文化部長	五十嵐哲也
経理部長	田村文雄
青年部長	中坪俊雄
婦人部長	小林フサ

（市側）

新潟市長	渡辺浩太郎
総務部長	中島正二
民生部長	松井米雄
司会 広報課長	市島健一

市内電話六万台突破の記念会場

市内の電話6万台！

年に1万台増設したい

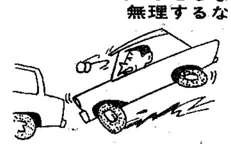
去る四月十六日、古町八、山本電気店に六万台目の電話が取り付けられました。これは、明治三十四年に新潟市に電話が出現して以来、六十九年目のことです。

新潟電話局では、この六万台突破を記念して、渡辺市長に〝一日電話局長〟を委嘱し、記念電話を取り付けてもらいました。また、道ゆく市民に記念電話を無料開放し、市内、市外通話に人気が殺到していました。

電話局では、今後も、年々一万台の電話を市民の家庭におとどけしたい――といっています。

世界の願い交通安全

急停車 するな させるな 無理するな



万代橋東側（東港線十字路）は、1日平均5万3千台の交通量があります。この附近の事故は年間71件、傷者64人です。運転者は次のことに注意したいものです。

❶車間距離を正しく守り、みだりに車線をかえないこと❷右左折時、ハンドルを切る3秒前に確実な合図を❸信号のかわり目に注意を。

第10回

市成人学校開講

申し込みは6月11日まで

市中央公民館では、第十回新潟市成人学校を次のとおり開きます。希望者は、希望コース、氏名、性別、住所、勤務先、電話番号を記入し、返信用封筒を添えて中央公民館（西堀通六）へ。期限は六月十一日まで。各コース定員五十人。受講料は無料。

地方自治コース

Aコース

○内容　新潟市史と市勢、市役所の機構と働き、あすの新潟など
○会場　中央公民館
○期間　六月二十二日から毎週月曜日午後一時～三時、合計十一回
○講師　渡辺市長ほか市の部課長

Bコース

○内容　市政と国のつながり、国際経済と市民生活、新潟市の将来と山の下など。
○会場　山の下公民館
○期間　六月二十三日から毎週火曜日午後七時～九時、合計九回
○講師　新大助教授高井孝、新潟日報編集局長吉田恭ほか

レタリングコース

○内容　レタリングの初歩から
○会場　中央公民館
○期間　六月十九日から毎週金曜日午後六時～八時、合計十四回
○教材費　六百円
○講師　寄居中教諭　片野三郎

簿記コース

○内容　商業簿記の初歩から
○会場　市東総合庁舎（蒲原）
○期間　六月十七日から毎週水曜日午後六時～八時、合計十二回
○教材費　五百円
○講師　北越商業教諭　小松繁雄
※講座終了後三級検定試験実施

ペン習字コース

○内容　ペン習字の初歩から
○会場　中央公民館
○期間　六月十九日から毎週金曜日午前十時～十二時、合計十三回
○教材費　三百円
○講師　元中央高校教諭　樋口満

書道コース

○内容　楷書・行書・草書の初歩から
○会場　市東総合庁舎
○期間　六月十七日から毎週水曜日午前十時～十二時、合計十五回
○教材費　五百円
○講師　書道教授　坂井八空

料理コース

Aコース

○会場　南部公民館（金鉢山）
○期間　六月二十五日から毎月第二・第四木曜日午後一時～四時、合計八回
○講師　日本栄養士会新潟支部長　斎藤富美

Bコース

○会場　北部公民館（稲荷町）
○期間　六月二十四日から毎月第二・第四水曜日午後一時～四時、合計八回
○講師　料理研究所長高橋真佐子

今回は〝地方自治コース〟を新設しました。市政を知っていただく絶好の機会です。ふるってご応募ください。

国際理解コース

☒会場　中央公民館
☒期間　6月17日から毎週水曜日午後6時～8時　12回

期日	主題	講師
6.17	世界人権年と基本的人権	北都短大講師 山口五郎
6.24	新潟市と姉妹都市	新潟市長 渡辺浩太郎
7.1	国際法の知識	北都短大講師 山口五郎
7.8	国連の機構とはたらき	新大教授 立間実
7.15	ユネスコの目的とはたらき	新大教授 立間実
7.22	国際緊張と人間	新潟日報編集局長 吉田恭
7.29	最近の国際情勢	外務省国際連合局政治課長天羽民雄
8.5	最近の国際情勢	外務省国際連合局政治課長天羽民雄
8.26	民族と国旗	新大教授 立間実
9.2	世界の生活さまざま	都窯社長 森田治雄
9.9	外国人の日本人観	北方文化博物館長 伊藤文吉
9.16	世界各国の教育	敬和学園高校長 太田俊雄

新生活設計コース

☒会場　中央公民館
☒期間　6月17日から毎週水曜日午後6時～8時　12回

期日	主題	講師
6.17	結婚とは何か	中央高校教諭 田宮敬子
6.24	結婚式の意義	中央高校教諭 田宮敬子
7.1	健康な生活	済生会婦人科医長 笹川重雄
7.8	結婚の法律	弁護士 藤山藤作
7.15	現代家庭の特徴と機能	県社会教育講師 中谷千代子
7.22	親の扶養について	弁護士 藤山藤作
7.29	経済生活の設計	友の会 西田はつ
8.5	新生活と住居	県立女子短大教授 柳原文一
8.26	共稼ぎと子どもの養育	評論家 小木みさを
9.2	共稼ぎと家庭生活	婦人少年室長 玉井英子
9.9	嫁と姑のあり方	敬和学園高校長 太田俊雄
9.16	夫と妻のあり方	敬和学園高校長 太田俊雄

家庭園芸コース

☒会場　市東総合庁舎
☒期間　6月23日から毎週火曜日午後6時～8時　9回

期日	主題	講師
6.23	楽しい草花栽培の基礎知識	浦浜農園
6.30	楽しい草花栽培の基礎知識	〃
7.7	庭のない家庭の花づくり	〃
7.14	一年中の庭の管理	北越農事内野農場長 大柿芳美
7.21	植木の種類と育て方	〃
7.28	県園芸特産品と市場性について	〃
8.4	観葉植物の管理と盆栽の作り方	〃
9.1	見学	浦浜農園
9.8	四季の花壇の作り方	〃

くらしと文芸コース

☒会場　中央公民館
☒期間　6月19日から毎週金曜日午前10時～12時　11回

期日	主題	講師
6.19	近代文芸の思潮	新大教授 伊狩章
6.26	〃	新大教授 伊狩章
7.3	現代小説の流れ	新大教授 内山鉄二朗
7.10	現代文芸について	新大助教授 石田友夫
7.17	現代詩の概論	柏崎高校教諭 吉岡又司
7.24	現代詩の見かた作り方	詩吟連盟会長 田村達爾
7.31	俳句の見かた作り方	新潟日報放送部 中野弘一
8.7	短歌の見かた作り方	新潟短歌主宰 野地曠二
8.28	川柳の見かた作り方	新大教授 安達義雄
9.4	演劇について	新大助教授 大河内康行
9.11	随筆のあれこれ	評論家 桑原貞子

夏のボーナスは この定期へ

旅行やご家庭サービスもけっこうですが、ことしも、ボーナスの½は〈ダイ四〉へ。それには、イザというとき、いつでも引きだせる〈ダイ四〉ご便利定期。急な出費を恐れずに、ボーナス計画を確実に進められます。

いつでも使える！〈ダイ四〉ご便利定期 貯蓄セット定期

すぐそばにある

6月1日から

国鉄みどりの窓口が東堀に誕生！

◎コンピューターによりすべてのキップがすぐに差し上げられます
◎市内の駅としてご利用くださいませ

株式会社 日本旅行

新潟東堀営業所（東堀通6和幸ビル）　TEL28－6065（代）

西堀前六高見ビル四階 電話(28)一七二二～三番